

シラバス

指定番号 303

商号又は名称:株式会社ピースフリーケアグループ

科目番号・科目名	(1)職務の理解			
指導目標	研修に先立ち、これから介護を目指すべきその人の生活を支える「在宅におけるケア」および「施設におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、そのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的なイメージを持って実感し、実践的に研修に取り組めるようにする。			
項目番号・項目名	時間数	うち通学学習時間数	うち通信学習時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 多様なサービスの理解	2	2	0	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険サービス(施設・居宅) ・介護保険外サービス ・介護の社会化と尊厳の保持 <p>介護職員としてどのように働きたいのか、介護のイメージやこれから目指す介護職員について認識を深める。</p>
② 介護職の仕事内容や働く現場の理解	4	4	0	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容 ・居宅、施設の実際のサービス現場におけるそれぞれの仕事内容を講師による経験談などを伝え、出来る限り具体的に理解させる。 ・ケアプランの位置づけに始まるサービス提供に至るまでの一連の業務の流れと、チームアプローチ・多職種、介護保険外サービスを含めた地域の社会資源との連携。 <p>居宅、施設の実際のサービス提供現場の具体的な様子について実務経験者である講師の経験談などを伝え、介護サービスの提供についてイメージを持たせる。</p>
(合計時間数)	6	6	0	

使用する機器・備品等	中央法規発行「介護職員初任者研修テキスト」1巻
------------	-------------------------

シラバス

指定番号 303

商号又は名称:株式会社ピースフリーケアグループ

科目番号・科目名	(2)介護における尊厳の保持・自立支援			
指導目標	介護職が利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを理解し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点、及びやってはいけない行動例を理解する。介護の目標や展開について、尊厳の保持、QOL、ノーマライゼーション、自立支援の考え方を取り入れて概説する。身体拘束、サービス利用者の尊厳及びプライバシーを傷つける介護について基本的なポイントが理解できる。			
項目番号・項目名	時間数	うち通学学習時間数	うち通信学習時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 人権と尊厳を支える介護	3	1	2	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権と尊厳の保持 個人としての尊厳・アドボカシー・エンパワメントの視点・役割のある実感・尊厳のある暮らし・利用者のプライバシー保護 ・ICF ICF の特徴の理解と活用 ・QOL QOL の考え方・生活の質 ・ノーマライゼーションの考え方 ・虐待防止・身体拘束禁止・高齢者、障害者虐待防止法 <p>基礎的な理論を抑えどのようなケアが具体的に尊厳を保持することに繋がるか検討する。利用者の尊厳を著しく傷つける言動とその理由について考えさせ、尊厳という概念に対する気付きを促す。虐待を受けている高齢者への対応方法について指導を行い、高齢者虐待に対する理解を促す。</p> <p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳の保持と自立、ノーマライゼーションの意義、個人の尊厳と法制度 ・高齢者虐待、利用者の尊厳の保持
② 自立に向けた介護	4	1	3	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護の基本視点 <p>自立、自律支援・残存能力の活用・意欲を高める支援・個性、個別ケア・重度化防止</p> <p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防 介護予防の考え方 <p>事例を通してどのような支援方法が自立支援や予防介護となるのか検討し自立支援への理解を深める</p>
③ 人権啓発に係る基礎知識	2	2	0	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権及び人権問題に関する基礎的理解 ・個人の権利を守る制度の概要 <p>個人情報保護法・成年後見制度・日常生活自立支援事業・生活保護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護への取り組み <p>人権及び人権問題に関する正しい理解を深め、主体的な思考力、判断力を養い、多様な人権問題の解決に主体的に取り組む責任を自覚し豊かな人権感覚を身につける。</p>
(合計時間数)	9	4	5	

使用する機器・備品等	中央法規発行「介護職員初任者研修テキスト」1巻
------------	-------------------------

シラバス

指定番号 303

商号又は名称:株式会社ピースフリーケアグループ

科目番号・科目名	(3)介護の基本			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学 習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
指導目標	<p>介護の目指す基本的なものは何かを概説でき、家族による介護と専門職による介護の違い、介護の専門性について理解する。介護職として基本的な役割とサービスごとの特性、医療、看護との連携について理解する。</p> <p>介護職の職業倫理の重要性を理解し、介護職が利用者や家族等と関わる際の留意点について、ポイントを理解する</p> <p>生活の場では出会う典型的な事故や感染、介護における主要なリスクを理解している。</p> <p>介護職に起こりやすい健康被害や受けやすいストレス、またそれらに対する健康管理、ストレスマネジメントのあり方、留意点を理解している</p>			
① 介護職の役割、専門性と多職種との連携	2	1	1	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護環境の特徴の理解 訪問介護、施設介護サービスとの違い、地域包括ケアの方向性と地域包括ケアシステムの役割 ・介護の専門性 重度化防止・遅延化の視点・利用者主体の支援姿勢・自立した生活を支えるための援助・根拠のある介護・チームケアの重要性 事業所内のチーム・多職種からなるチーム ・介護に関わる職種 異なる専門性を持つ多職種の理解・介護支援専門員・サービス提供責任者・看護師等とチームとなり利用者を支える 互いの専門職能力を活用した効果的なサービスの提供・チームケアにおける役割分担 <p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護環境の理解 ・専門職としての介護の視点、チームアプローチの実際 ・利用者を取り巻く多職種連携、多職種連携における役割分担
② 介護職の職業倫理	1	1	0	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護サービスの公共性と職業倫理として、専門職の倫理の意義、介護の倫理、介護職としての社会的責任、プライバシー保護・尊重を理解する。 ・利用者、家族に対する責任
③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント	2.5	0.5	2	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護における安全の確保 事故に結びつく要因を探り、事故に結びつく要因を探り対応していく技術、リスクとハザードを理解する ・事故予防、安全対策 リスクマネジメント・分析の手法と視点・事故に至った経緯の報告(家族への報告、市町村への報告等)・情報の共有を理解する。 <p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染対策のための基礎的知識 感染の原因と経路(感染源の排除、感染経路の遮断)・「感染」に対する正しい理解 ・事故を未然に防ぐための方法や、事故はなぜ起こるのか事故の要因を考え危険予知、危険予測について理解する ・生活の中のリスクと対策

④ 介護職の安全	0.5	0.5	0	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職の健康管理とストレスマネジメント ・介護職の労働権利と労働法 <p>介護職の健康管理が介護の質に与える影響・ストレスマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腰痛の予防に関する知識 ・手洗い・うがいの励行・手洗いの基本・感染症対策に対する正しい知識を理解する。 <p>【演習実施方法】</p> <p>講師の指導のもと、手袋、エプロンの装着・脱着方法を実際に行う。腰痛予防動作についても講師の指導のもと実際に動作を行う。</p>
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	<p>中央法規発行「介護職員初任者研修テキスト」1巻</p> <p>特殊寝台、枕、手袋・エプロン、消毒用アルコール</p>
------------	---

シラバス

指定番号 303

商号又は名称:株式会社ピースフリーケアグループ

科目番号・科目名	(4)介護・福祉サービスの理解と医療の連携			
指導目標	生活全体の支援の中で介護保険制度の位置づけを理解し、各サービスや地域支援の役割について 列挙できる 介護保険制度や障害者自立支援制度の理念、介護保険制度の財源構成と保険料負担の大枠について 列挙できる ケアマネジメントの意義について概説でき、代表的なサービスの種類と内容、利用の流れについて列 挙できる。高齢障害者の生活を支えるための基本的な考え方を理解し、代表的な障害者福祉サービ ス、権利擁護や成年後見制度の目的、内容について列挙できる 医行為の考え方、一定の要件の元に介護福祉士等が行う医行為などについて列挙できる			
項目番号・項目名	時間 数	うち 通学学 習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①介護保険制度	4.5	0.5	4	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度創設の背景、目的および動向 ケアマネジメント・予防重視型システムへの転換・地域包括支援セン ターの設置・地域包括ケアシステムの推進を理解する ・介護保険制度の仕組みの基礎的理解 保険制度としての基本的仕組み・介護給付と種類・予防給付・要介 護認定の手順を理解する <p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度としての基本的仕組み・介護給付と種類・予防給付・ 要介護認定の手順 ・制度を支える財源、組織・団体の機能と役割 財政負担、指定介護サービス事業者の指定を理解する
②医療との連携とリハビリテー ション	2.5	0.5	2	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医行為と非医行為 介護、訪問看護、施設における看護と介護の役割と連携 ・医療、看護職とのチームケア ・リハビリテーションの理念、リハビリテーション職種との連携 <p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医行為を行ってはいけない理由を考え、医行為と医行為でないも のについて理解する
③障がい者総合支援制度およ びその他制度	2	0.5	1.5	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者福祉制度の理念 障害の観点・ICF(国際生活機能分類) 介護給付・訓練等給付の申請から支給決定まで ・個人の権利を守る制度の概要 ・個人情報保護法・成年後見制度・日常生活自立支援制度 <p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者総合支援法制度の仕組みの基礎的理解 ・成年後見制度
(合計時間数)	9	1.5	7.5	

使用する機器・備品等	中央法規発行「介護職員初任者研修テキスト」1巻
------------	-------------------------

シラバス

指定番号 303

商号又は名称:株式会社ピースフリーケアグループ

科目番号・科目名	(5)介護におけるコミュニケーション技術			
指導目標	共感、受容、傾聴的態度、気づきなど、基本的なコミュニケーション上のポイントについて理解し、高齢者や障害者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なること、その違いを認識してコミュニケーションを取ることが専門職に求められていることを認識する。 家族が抱きやすい心理や葛藤の存在と、介護における相談援助技術の重要性を理解し、介護職として持つべき視点を列挙できる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学 習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護におけるコミュニケーション	3	1.5	1.5	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割 相手のコミュニケーション能力に対する理解や配慮・傾聴・共感の応答 ・コミュニケーションの技法 道具を用いた言語的コミュニケーション、非言語的コミュニケーションの特徴を理解する ・利用者、家族とのコミュニケーションの実際 利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションの実際 利用者の思いを把握する、意欲低下の要因を考える、利用者の感情を受容・共感・傾聴することで利用者の思いを知るコミュニケーションについて理解する。 ・家族の心理的理解 家族へのいたわりと励まし、信頼関係の形成、自分の価値観で家族の意向を判断し、非難することがないようにする ・アセスメントの手法とニーズとデマンドの違い <p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活場面におけるコミュニケーション、対人援助のコミュニケーション
②介護におけるチームのコミュニケーション	3	1.5	1.5	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記録における情報の共有化 介護における記録の意義・目的、利用者の状態を踏まえた観察と記録・介護に関する記録の種類・個別援助計画書 ・ヒヤリハット報告書、5W1Hを理解する ・チームアプローチとチーム連携 ・報告の留意点、連絡の留意点、相談の留意点 ・コミュニケーションを促す環境 会議・情報共有の場、役割の認識の場(利用者と頻回に接触する介護者に求められる観察眼)・ケアカンファレンスの重要性を理解する。 <p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職と記録、報告・連絡・相談
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	中央法規発行「介護職員初任者研修テキスト」1巻
------------	-------------------------

シラバス

指定番号 303

商号又は名称:株式会社ピースフリーケアグループ

科目番号・科目名	(6)老化の理解			
指導目標	加齢、老化に伴う生理的な変化や心身の変化・特徴、社会面、身体面、精神面、知的能力面などの変化、心理的特徴について理解することの重要性に気づかせる。 高齢者に多い疾病の種類とその症状、特徴、治療・生活上の留意点および高齢者の疾病による症状や訴えについて理解できる。			
項目番号・項目名	時間数	うち通学学習時間数	うち通信学習時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①老化に伴うところとからだの変化と日常	3	1.5	1.5	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴として、防御反応(反射)の変化、喪失体験を理解する ・老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響として身体的機能変化と日常生活への影響を理解する。 <p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感覚、知覚の変化、注意力の変化と反応の変化、記憶の変化、知能の変化、感情の変化、性格の変化 ・健康とライフサイクル、加齢の生理学
②高齢者と健康	3	1.5	1.5	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に多い疾病の種類と、その症状や特徴及び治療・生活上の留意点及び疾病による症状や訴えについて理解する。 日々の健康状態の変化にどのようにすれば気づけるか、またどのような観察視点が必要か検討するとともに、日常生活上の留意点を理解する ・高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点として、骨折・筋力の低下と動き・姿勢の変化・関節痛を理解する。 <p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体的・精神的機能の変化と病気、日常生活への影響とおもな症状とチェックポイント ・生活習慣病とメタボリックシンドローム、高血圧と糖尿病、循環器の病気、呼吸器の病気、消化器の病気、代謝・内分泌の病気、脳神経系の病気、運動器の病気、アレルギー・膠原病・免疫の病気、血液の病気、腎臓・泌尿器の病気、こころの病気、目の病気、耳・鼻・喉の病気、皮膚の病気、皮膚の病気、歯・口腔・顎の病気、感染による病気
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	中央法規発行「介護職員初任者研修テキスト」1巻
------------	-------------------------

シラバス

指定番号 303

商号又は名称:株式会社ピースフリーケアグループ

科目番号・科目名	(7)認知症の理解			
指導目標	介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護する時の判断の基準となる原則を理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 認知症を取り巻く状況	0.5	0.5	0	【講義内容】 ・認知症を取り巻く状況、認知症ケアの理念 ・パーソン・センタード・ケア、最新の認知症ケアを知る。 ・認知症介護の基本原則(できることに着目する)を理解する
②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2.5	1	1.5	【講義内容】 ・認知症の基礎知識と健康管理の重要性 ・認知症の原因疾患とその病態、原因疾患別ケアのポイント ・中核症状と行動、心理症状、認知症の定義 物忘れとの違い、せん妄の症状、健康管理(脱水・便秘・低栄養・低運動の防止、口腔ケア)、治療、薬物療法、認知症の治療に使用される薬 【通信学習課題の内容】 ・認知症とはなにか、物忘れと認知症の違い、認知症の初期症状、認知症の診察と診断 ・認知症の種類と原因、アルツハイマー型認知症、血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症、その他の認知症 ・中核症状、行動・心理症状、中核症状の薬物療法、行動・心理症状の薬物療法
③認知症に伴うこととからだの変化と日常生活	2.5	1	1.5	【講義内容】 ・認知症の中核症状と認知症の行動・心理症状(BPSD)、不適切なケア、生活環境による改善 ・認知症の利用者への対応 本人の気持ちを推察する、プライドを傷つけない、相手の世界にあわせる、失敗しないような状況を作る、すべての援助行為がコミュニケーションであると考え、身体を通じたコミュニケーション、相手の様子・表情・視線・姿勢などから気持ちを洞察する、認知症の進行に合わせたケアを理解する 【通信学習課題の内容】 ・行動・心理症状の具体的対応 ・日常生活支援の基本的対応、環境整備と基本的対応、心理学的援助方法
④ 家族への支援	0.5	0.5	0	【講義内容】 ・認知症の高齢者を支える家族への支援のため、家族介護者の負担の現状と認知症の受容過程での援助、介護負担の軽減(レスパイトケア)を理解する。 ・認知症をもつ人の声、そして家族の声を理解する。
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	中央法規発行「介護職員初任者研修テキスト」2巻
------------	-------------------------

シラバス

指定番号 303

商号又は名称:株式会社ピースフリーケアグループ

科目番号・科目名	(8)障がいの理解			
指導目標	障害の概念とICFについて概説でき、各障害の内容・特徴及び障害に応じた介護における基本的な考え方について理解する。 障害の受容のプロセスと基本的な介護の考え方について列挙できる			
項目番号・項目名	時間数	うち通学学習時間数	うち通信学習時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 障がいの基礎的理解	1	0.5	0.5	【講義内容】 ・障害の概念とICF 介護においてICFの分類と医学的分類、考え方を理解する ・障害者福祉の基本理念 ・ノーマライゼーションの概念 【通信学習課題の内容】 ・障害者福祉の基本理念 ・ICIDHとICFの理解
② 障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	1	0.5	0.5	【講義内容】 ・障害の医学的側面、生活障害での心理・行動の特徴 ・関わり支援等の基礎的理解 身体障害、知的障害、精神障害、発達障害などの心身の機能障害を理解する。 ・身体障害、知的障害、精神障害、言語・聴覚障害、視覚障害、発達障害、高次脳機能障害、内部障害、難病 【通信学習課題の内容】 ・生活障害での心理・行動の理解
③ 家族の心理、かかわり支援の理解	1	0.5	0.5	【講義内容】 ・家族への支援 ・障害のある人の家族の負担と支援 心理面、ストレス、ニーズなどに対して支援を行うため、障害の理解、障害の受容支援、介護負担の軽減を理解する 【通信学習課題の内容】 ・障害の受容の理解
(合計時間数)	3	1.5	1.5	

使用する機器・備品等	中央法規発行「介護職員初任者研修テキスト」2巻
------------	-------------------------

シラバス

指定番号 303

商号又は名称:株式会社ピースフリーケアグループ

科目番号・科目名	(9)こころとからだのしくみと生活支援技術			
指導目標	介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部介助または全介助が実施できる 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながら、その人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学 習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護の基本的な考え方	3	3	0	【講義内容】 ・介護保険制度下の介護サービス ・理論と法的根拠に基づく介護(ICFの視点に基づく生活支援、利用者主体の介護) ICFによるアセスメント、利用者理解、利用者主体、介護実践における原則(尊厳の保持、自立支援、安全安楽)を理解する
②介護に関するこころのしくみの基礎的理解	3.5	3	0.5	【講義内容】 ・自己実現と生きがいづくり 高齢期の喪失体験、自己実現と生きがい ・高齢者の心理(加齢に伴う変化とその心理、高齢期のパーソナリティと適応) 【通信学習課題の内容】 ・学習と記憶に関する基礎知識 ・感情と意欲に関する基本的視点 ・要介護状態と高齢者の心理
③介護に関するからだのしくみの基礎的理解	4.5	3	1.5	【講義内容】 ・人体の各部の名称と動きに関する基礎知識 ・運動動作に関する基礎知識 ・神経系に関するからだのしくみ ・バイタルチェック こころとからだを一体的に捉える・利用者の様子の普段との違いに気づく視点 ボディメカニクスを活用した立ち上がりや起き上がりの介護を実施及び体験することで、人のからだの仕組みを活用し介護を行う必要性を理解する 【通信学習課題の内容】 ・人体各部の名称、骨格・関節・筋の動き ・身体の動きの基本(ボディメカニクスの原則と介護への活用) ・中枢神経系、抹消神経系、自律神経系 ・自律神経と内部器官に関する基礎知識
④生活と家事	6	3	3	【講義内容】 ・家事支援の必要性と目的、信頼関係の構築と秘密保持、利用者に合わせて生活 ・家事援助に関する基礎的知識 調理、掃除、洗濯、衣類の補修 生活歴・自立支援・予防的な対応・主体性・能動性を引き出す・多様な生活習慣・価値観の理解をもつ 【通信学習課題の内容】 ・家事援助の機能、役割について、自立支援の家事援助について

⑤快適な居住環境整備と介護	6	3	3	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・快適な居住環境に関する基礎知識、高齢者・障害者特有の居住環境整備と安全 ・福祉用具に関する留意点と使用方法 ・家庭内に多い事故・バリアフリー(住宅改修)
⑥整容に関連したことからからだのしくみと自立に向けた介護	6.5	6	0.5	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整容に関する基礎知識、整容の支援技術 身体状況に合わせた衣服の選択、着脱・身支度・整容行動・洗面の意義・効果 <p>【演習実施方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服(前開き上下、かぶり)、浴衣の着脱などの実技演習(ロールプレイ)を行う。 介護の実施にあたっての観察・アセスメントのポイントを理解し実践する 介護実践の原則である尊厳の保持、自立支援、安全安楽を常に意識した実技演習を展開する <p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身じたくを整える意味
⑦移動・移乗に関連したことからからだのしくみと自立に向けた介護	6.5	6	0.5	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体位・姿勢の持つ意味、体位・姿勢の介護、褥瘡予防 ・移動・移乗に関する基礎知識やさまざまな移動・移乗に関する用具とその活用法 ・外出のもつ意味、外出介護、肢体不自由者の歩行介助、視覚障害者の歩行介助 ・利用者・介助者にとって負担の少ない移動・移乗を阻害するところからだの要因の理解と支援方法や移動と社会参加の留意点と支援方法 <p>【演習実施方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩行介助、車いす移乗・移動などの実技演習(ロールプレイ)を行う <p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ボディメカニクスの原則 体位変換、良肢位 「移乗前確認」「移乗中の声掛け」「移乗後の安全確認」
⑧食事に関連したことからからだのしくみと自立に向けた介護	6.5	6	0.5	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事のもつ意味、食事の生理的な仕組み 食事に関する基礎知識、食事環境の整備・食事に関連した用具・食器の活用方法および食事と社会参加の留意点と支援 食事形態とからだのしくみ、楽しい食事を阻害するところからだの要因の理解と支援方法 ・食事のケアに対する介護者の意識・低栄養の弊害・脱水の弊害・食事と姿勢・咀嚼・嚥下のメカニズム・空腹感・満腹感・好み・食事の環境整備・食事に関した自助具の活用と介助方法・口腔ケアの定義・誤嚥性肺炎の予防 <p>【演習実施方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事介助などの実技演習(ロールプレイ)を行う。 環境の整備、安全な食事姿勢、嚥下体操、食事の介助、自助具の使用、誤嚥時の対応を演習する。 <p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 摂食・嚥下の5段階 生活の質や楽しみを支える「食事前確認」「食事中の安全」「食事後の観察」

<p>⑨入浴・清潔保持に関連したところからだのしきみと自立に向けた介護</p>	<p>6. 5</p>	<p>6</p>	<p>0. 5</p>	<p>【講義内容】 ・入浴、清潔保持に関連した基礎知識、さまざまな入浴用具と整容用具の活用方法 ・羞恥心や遠慮への配慮・体調の確認・全身清拭・目・鼻腔・耳・爪の清潔方法・陰部洗浄(臥床状態での方法)・足浴・手浴・洗髪 介護実践の原則である尊厳の保持、自立支援、安全安楽を常に意識した実技演習を展開する(環境の整備、入浴の介護、シャワー浴、清潔保持の介護、清拭、手浴・足浴)</p> <p>【演習実施方法】 入浴介護についての実技演習(ロールプレイ)を行う。</p> <p>【通信学習課題の内容】 入浴のもたらす効果 「入浴前確認」「入浴中の安全」「入浴後の観察」</p>
<p>⑩排泄に関連したところからだのしきみと自立に向けた介護</p>	<p>6. 5</p>	<p>6</p>	<p>0. 5</p>	<p>【講義内容】 ・排泄に関する基礎知識、さまざまな排泄環境整備と排泄用具の活用方法 ・排泄のしきみ 排泄とは・身体面での意味・心理面での意味・社会的な意味・プライド・羞恥心・プライバシーの確保・おむつは最後の手段・おむつ使用の弊害・排泄障害が日常生活に及ぼす影響・排泄ケアを受けることで生じる心理的な負担・尊厳や生きる意欲との関連性</p> <p>【演習実施方法】 ・一部介助を要する利用者のトイレ介助、ポータブルトイレ、便器・尿器、おむつについての実技演習(ロールプレイ)を行う。・感染予防対策を理解する。</p> <p>【通信学習課題の内容】 ・排泄用具の正しい使い方・動作支援の工夫・健康リスクの理解・排泄ケアに伴う心理的配慮</p>
<p>⑪睡眠に関連したところからだのしきみと自立に向けた介護</p>	<p>3. 5</p>	<p>3</p>	<p>0. 5</p>	<p>【講義内容】 ・睡眠に関する基礎知識(睡眠の意味、仕組み) ・快い睡眠を阻害するところからだの要因の理解と支援方法(睡眠の状態と睡眠障害の原因把握、安眠への支援 安眠のための介護の工夫・環境の整備・安楽な姿勢・褥瘡予防)</p> <p>【演習実施方法】 シーツ交換、体位変換についての実技演習(ロールプレイ)を行う。</p> <p>【通信学習課題の内容】 ・休息・睡眠の基礎知識、環境整備、阻害要因の理解と支援方法 ・睡眠障害と睡眠薬</p>
<p>⑫死にゆく人に関連したところからだのしきみと終末期介護</p>	<p>4. 5</p>	<p>4</p>	<p>0. 5</p>	<p>【講義内容】 ・終末期に関する基礎知識 ・終末期の心身の変化と対応 高齢者の死に至る過程・臨終が近づいたときの兆候と介護・介護従事者の基本的態度・多職種間の情報共有の必要性 ・終末期介護の実施にあたっての観察・アセスメントのポイントを理解する。</p> <p>【演習実施方法】 終末期について(事例検討)ディスカッションで捉え方を共有する。死に直面した時の人の心理状況について事例検討を行う。</p> <p>【通信学習課題の内容】 ・終末期における心身の変化と、死の受容プロセスについて理解する。</p>

⑬介護過程の基礎的理解	6.5	6	0.5	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護過程の基礎的理解、目的・意義 ・介護過程の展開、介護過程とチームアプローチ <p>【演習実施方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な事例をもとに事例検討(ディスカッション)を行う。 <p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護過程の目的と意義、介護過程の展開、介護過程とチームアプローチ
⑭総合生活支援技術演習	6	6	0	<p>事例の提示</p> <ul style="list-style-type: none"> →こことからだの力が発揮できない要因の分析 →適切な支援技術の検討→支援技術演習 →支援技術の課題 <p>【演習実施方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一連の生活支援を提供する流れの理解と技術の習得、利用者の心身の状況にあわせた介護を提供する視点を習得する。 事例をグループワークで検討し、個別援助計画を立案し、計画に基づく援助について理解を深める 個々の利用者に応じた適切な支援技術は何かを検討し、援助方法についてロールプレイを行い、理解を深める
(合計時間数)	76	64	12	

使用する機器・備品等	<p>中央法規発行「介護職員初任者研修テキスト」2巻</p> <p>特殊寝台、特殊寝台付属品、シーツ、バスタオル、枕、車椅子、歩行補助杖、ポータブルトイレ、尿器、差し込み便器、紙おむつ、前開きパジャマ上下、トレーナー、浴衣、足浴手浴用のバケツ、ペットボトル、ブルーシート、新聞紙、ごみ袋、洗濯バサミ、食食用自助具</p>
------------	--

シラバス

指定番号 303

商号又は名称:株式会社ピースフリーケアグループ

科目番号・科目名	(10)振り返り			
指導目標	研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認を行うとともに、就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかる			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 振り返り	3	3	0	【講義内容】 ・研修を通して学んだこと、今後継続して現場で学ぶべきこと、根拠に基づく介護についてグループワークを通じて振り返る
② 就業への備えと研修修了後における実例	1	1	0	【講義内容】 ・介護職としてのさまざまな働き方を現場の介護職から聞くことで、自らの働く姿をイメージし、キャリアプランにつなげる。 ・継続的に学ぶべきこと・研修終了後における継続的な研修について具体的にイメージできるような実例の紹介を行う ・研修終了後どのようなスキルアップを目指したいか考え、具体的なスキルアップの例等、講師の経験談を通し、意欲向上を図る。
(合計時間数)	4	4	0	

使用する機器・備品等	中央法規発行「介護職員初任者研修テキスト」
------------	-----------------------